

令和3年度

学校評価結果報告書
(中間評価)

広島県立廿日市高等学校

定時制課程普通科

目 次

- 1 令和3年度自己評価シート(中間評価) (様式 2) ……1
- 2 令和3年度学校関係者評価シート(中間評価) (様式4) ……4

令和3年度自己評価シート(中間評価)

校番	15	学校名	広島県立廿日市高等学校	校長氏名	藤本 寅肇	全・定・通	本・分
----	----	-----	-------------	------	-------	-------	-----

1 短期(本年度)経営目標

<p>【短期(本年度)経営目標】 廿定の学びの変革を推進する。 ・ICT機器を活用した学習指導を工夫し、学習意欲を喚起する ・生徒が授業規律を守り、主体的に参加する授業をめざした授業改善を進める。 ・基礎・基本の定着を図り、生徒の理解度を高める。</p>	
<p>【本年度行動計画】 ・教科指導に係る年間テーマを設定する。さらに授業における学習内容を明確にするとともに、授業規律を徹底し、全教職員が共通認識をもって組織的な授業改善を進める。 ・すべての生徒にとってわかりやすく、興味が持てる授業を行うために、特別支援教育の観点を取り入れた授業改善を行う。</p>	<p>評価</p> <p>B</p>

<p>【短期(本年度)経営目標】 個別最適化された進路指導を実践し、自己実現や進路実現に向けて自ら努力する生徒を育成する。</p>	
<p>【本年度行動計画】 ・総合的な探究の時間やLHRで職業や働くことについて学び、自立した社会人として活躍していくために必要な心構えやキャリアパスについて、自ら考える教育活動を展開する。 ・担任、就職支援教員(JST)、進路指導部相互の密な連携のもと、面談やミニヒアリングの機会を随時設ける。 ・個別の進路カルテを作成し、教職員間で共有することで、生徒一人一人に寄り添う進路指導を行う。</p>	<p>評価</p> <p>B</p>

<p>【短期(本年度)経営目標】 生徒会活動・部活動に全力で取り組む生徒を育てる。生徒が充実感や達成感を味わい、自信と意欲を高める。</p>	
<p>【本年度行動計画】 生徒会執行部を中心とした企画・運営を充実させ、学校行事への参加を高めるため LHR などを通じて生徒に呼びかける。</p>	<p>評価</p> <p>C</p>

<p>【短期(本年度)経営目標】 自分自身の健康、生活に対する意識を高め、改善するための方法を考えさせる。 他者とのかかわり方の方法を学び、自分で考えることができる。</p>	
<p>【本年度行動計画】 ・LHR等での保健指導を充実させる ・LHR等でコミュニケーションスキルについての学習を取り入れる。</p>	<p>評価</p> <p>C</p>

<p>【短期(本年度)経営目標】 地元中学校や地域の関係諸機関との連携を深め、地域の教育力を活用する。</p>	
<p>【本年度行動計画】 ・地域と連携した講座等の実施。 ・地域ボランティアへの参加を呼び掛ける。</p>	<p>評価</p> <p>C</p>

<p>【短期(本年度)経営目標】 地域等への情報発信を行う。</p>	
<p>【本年度行動計画】 学校の情報を適宜HPで紹介する。</p>	<p>評価</p> <p>C</p>

<p>【短期(本年度)経営目標】 働き方改革を意識して、教職員が業務改善に取り組んでいる。</p>	
<p>【本年度行動計画】 ・各教職員が可能な所で業務改善を図り、生徒と向き合う時間が確保できるようにする。 ・定時退校日以外の日においても、出勤は12時以降とし、遅くとも22時10分には退校する。</p>	<p>評価</p> <p>B</p>

※ 学校経営計画に記載している短期(本年度)経営目標の数に応じて表を追加する。

評価結果の分析	<p>① 廿定の学びの変革を推進する。 (目標: 授業評価アンケートでの肯定的評価の割合 80%, 定期試験での目標基準点通過者の割合 40%, 資格・検定受検者, コンクール等の参加率 20%) 授業アンケートでの肯定的評価の割合が 81%と目標値 80%を上回った。定期試験での目標基準点通過者の割合が 46%と目標値 40%を上回った。資格試験やコンクールの参加者は 1 名で3%であり, 目標値 20%を大きく下回った。但し, 合格した1名は難関の文書デザイン検定 1 級に合格した。今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策により, すべての教室で授業のオンライン配信ができるように研修し, このコンピュータを活用する場面が増加しており, 授業改善が進められている。</p> <p>② 個別最適化された進路指導を実践し, 自己実現や進路実現に向けて自ら努力する生徒を育成する。 (目標: 学校生活アンケートでの本校進路指導に対する肯定的評価の割合 80%, 卒業予定者全員の進路希望実現 100%) 学校生活アンケートでの本校進路指導に対する肯定的評価の割合は暫定値 78%で, 目標値 80%に届いていない。卒業予定者7名について, 現時点で就職試験を2名受けており, 2名とも内定を得ている。生徒との面談・ミニヒアリングの機会を最重要視することで, 生徒の意欲や教員に対する信頼感の向上を念頭に進路指導部としての業務を行っている。昨年度から就職支援教員(JST)が週1回の勤務となったことにより, JSTと生徒の面談も毎週いずれかの生徒と行うことができている。進路指導室も昨年度から教員が常駐するようになり, 普段から生徒が訪問しやすい環境となっている。初回のJST面談の前には, 進路指導主事と生徒による面談を実施したり, 全教員が情報共有できる進路指導の個別カルテを随時更新したりしており, JSTや担任との連携も密に行っている。</p> <p>③ 生徒会活動・部活動に全力で取り組む生徒を育てる。生徒が充実感や達成感を味わい, 自信と意欲を高める。 (目標: 部・同好会所属生徒の割合 30%, 生徒会行事への参加率 90%) 部・同好会所属生徒は5名の15%であり, 目標値30%を下回っている。昨年度から続くコロナ禍によって, 生徒会が中心になって実施を検討してきた学校行事のほとんどが中止となり生徒の充実感・達成感を向上させることができなかった。年間を通じての生徒会行事への参加目標は 90%と設定しているが, 現時点での感染状況が継続すれば全面的な行事再開は難しいことが予想される。部活動も同様の傾向があったが, 園芸部は感染予防に十分配慮しながら, 継続的かつ定期的に活動を行い, 活動参加率も非常に高かったことから生徒に自信を持たせることに繋がっている。</p> <p>④ 自分自身の健康, 生活に対する意識を高め, 改善するための方法を考えさせる。他者とのかかわり方の方法を学び, 自分で考えることができる。 (目標: 指導後の振り返りシートでの肯定的評価の割合 80%, 学校生活アンケートでの本校入学への肯定的評価の割合 85%, 学校生活アンケートでの社会規範に対する肯定的評価の割合 80%) 保健だよりを6回, 教育相談だよりを1回発行し, 担任又は養護教諭から補足説明を加え, 保健指導を行なった。また, LHRで学年毎にテーマを決めてソーシャルスキルトレーニングを行い, 肯定的評価をした生徒が, 目標値 80%に対し, 78%という結果であった。学校生活アンケートでの本校入学への肯定的評価の割合は 87%で目標値 85%を超えていた。学校生活アンケートでの社会規範に対する肯定的評価の割合は 71%で目標値 80%を下回った。</p> <p>⑤ 地元中学校や地域の関係諸機関との連携を深め, 地域の教育力を活用する。 (目標: 地域の関係者への訪問回数及び来校回数 35 回, ボランティアへの参加率 10%) 地域と連携した講座等を例年実施してきたが, 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できていない。地元中学や地域の関係諸機関への訪問回数及び来校回数は 26 回となっており, 昨年同時期の 18 回より増加している。年3回実施予定の校外での清掃ボランティア活動は, 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために規模を縮小して1学期に実施を呼びかけたが, 生徒の参加が一人もなかった。感染の危険性を心配して参加する気持ちが高まらなかったことが原因であると分析している。年間を通じての参加目標を 10%と設定しているが, 生徒への参加促しを継続することによって目標達成は十分可能であると考えている。</p> <p>⑥ 地域等への情報発信を行う。 (目標: HP更新回数 40 回) 新型コロナウイルス感染症の対策のため, 部活動や生徒会活動が出来なくなり, 更新回数が 23 回と昨年同時期より減少した。廿高通信の発行回数は9月までに2回行っており, 昨年度と同じペースである。</p> <p>⑦ 働き方改革を意識して, 教職員が業務改善に取り組んでいる。 (目標: 定時退校日退校率 100%の日数 40 日) 定時退校日の定時退校率 100%の日数が 19 日である。</p>
---------	--

<p>今後の改善方針</p>	<p>①学習評価の改善の研修を実施し、新入生から観点別評価を導入する。</p> <p>②1～2学期は、卒業予定者に対する面談や指導が主になるため、2学期後半を目途に、四修制の3年次生から順次、進路指導主事との面談やJSTIによる進路相談、キャリアカウンセリングの機会を設定する。本校定時制において、最重要視すべきは生徒との面談機会の充実であると考え。面談を通して、生徒一人一人に寄り添う、個別最適な進路指導が行えるよう取組を進める。全体指導では、進路ロードマップを活用することで見通しをもった進路計画を生徒自らが立案・実行できるよう、進路指導部及び担任が一体となって取組を進める。</p> <p>③年度後半に、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、最大限感染予防に配慮をしつつ、できる限り生徒が積極的に参加して充実感が味わえるような行事を考え、実施していくことによって少しでも目標に近づけるように取組を進める。</p> <p>④引き続き、生徒の健康実態や時々の最重要課題などをふまえたタイムリーな保健だよりや教育相談だより作成に心がけ、補足説明を加えるなど工夫し生徒へ周知していく。ソーシャルスキルトレーニングは、感染症対策のため対面等のワークを避けるよう内容や方法を検討しながら、計画的に実施する。</p> <p>⑤地元中学や地域の関係諸機関との連携は今後とも積極的に行う。2学期、3学期の清掃ボランティア活動については、コロナ禍の状況を見極めながらも実施を予定しているため、LHR の時間などを利用して参加を呼びかけ、地域での活動を充実させていく取組を進める。</p> <p>⑥生徒の活動をこまめにホームページに掲載する。あらゆる行事を記録し、廿高通信の発行を継続する。</p> <p>⑦計画的に業務を行い、定時退校日の出勤時間、退校時間を守る。</p>
<p>学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方針</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症対策を進めながら、効果的な授業・学校行事となるよう工夫し、生徒の学校生活への満足度を高めていく。</p> <p>○多様な生徒への教育支援の取組推進のために、教育相談体制をさらに充実させ、スクールカウンセラーと連携しながら組織的な指導を進めていく。</p>

令和3年度学校関係者評価シート(中間評価)

令和3年10月28日

校番	15	学校名	広島県立廿日市高等学校	校長氏名	藤本 寅肇	定時制	本校
----	----	-----	-------------	------	-------	-----	----

《学校関係者評価基準》 A:とても適切である B:概ね適切である C:あまり適切でない D:全く適切でない N:判定できない

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ○7つの短期(本年度)経営目標と行動計画、13項目の評価指標の設定は、廿日市高校定時制が目指す明確な方向性と目標の達成にむけた見通しを指し示す具体的設定として適切なものと判断する。 ○短期経営目標が「短期(本年度)経営目標」となっているのがPDCAサイクルを回しやすくよい。ICT機器の活用を目標とされているのはよい。今年度は、現状値を踏まえた目標値となっているので非常に良い。地元中学校との関係を意識してくださるのは有難い。 ○全教職員が共通認識を持って組織的な授業改善を進めることは大事な視点だと思います。個別の進路カルテを作成し、一人一人に寄り添う進路指導のためにも、確実な教職員間の情報共有を通して実現できるようにお願いします。 ○目標値設定において、前年度実績を下回る設定が2項目ある中で、「HP 更新回数」は新型コロナウイルスの影響による行事縮小が背景にあることは理解出来るが、更新回数削減ではなくHPコンテンツを工夫する方法で検討していただきたい。一方「授業評価アンケートでの肯定的評価の割合」については、目標値を低く設定する背景が記載されていないため、経営力向上が伝わりづらい。 ○一人一人をこまめに細かく見て褒めて伸ばしていることから、目標設定が適切であると考えます。
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ○中間時点で B 評価とされた項目のうち、「廿定の学びの変革を推進する」について授業評価アンケートの肯定的評価と定期試験での目標基準点通過者の割合が目標値を上回っていることや、就職試験受験者が全員内定を得ていることなど、A 評価と判断しても良い部分も見受けられる。C 評価の項目については今後の見通しも見据えた厳しめの評価となっているが、いずれにしても計画の進捗状況の評価がデータに基づいて適切に行われた結果であることを確認できる。 ○指標に照らして適切に評価されている。 ○就職支援教員の活動が大きなキーワードになると思います。就職支援教員と生徒との関わり、就職支援教員と教職員との情報共有と方向性の確認等、今後に向けて期待できると考えていますので、具体的取組とその成果を明確化してください。 ○ほとんどの項目について、アンケート結果の肯定率や生徒会行事、ボランティアへの参加率など具体的な数値をもって進捗状況を確認しているのがよい。評価指標が新たに3項目設定されており、より多面的に評価出来るのがよい。 ○卒業後社会に出ていく生徒が多いことに対応した指導ができており、計画の進捗状況は適切に評価できていると思います。
目標達成に向けた取組の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ○授業評価アンケートの肯定的評価と定期試験での目標基準点通過者の割合が目標値を上回っていることや、就職試験受験者が全員内定を得ていることなどの他にも、難関の文書デザイン検定への合格、全ての教室での授業のオンライン配信ができるような研修、園芸部の継続的かつ定期的な活動と活動参加率の高さ、地元中学や地域の関係諸機関への訪問回数及び来校回数の増加などからは、目標達成に向けた取組が順調に適切に進行していることを確認できる。 ○授業改善が進んでいる。人間関係づくりや地域連携の取組は、コロナ収束後を見据えて準備する必要がある。 ○校種が上がるに連れ、学校に対する肯定的評価の割合が少なくなると感じています。人生のどの時期においても、人から求められ、信頼され、期待されている感情は一緒だと思います。是非とも様々な活動の場を通して、しっかりと肯定的評価が高まるようお願いいたします。 ○具体的に簡潔明瞭に書かれているのがよい。成果が出ていない項目については、取組の改善も検討するとよい。 ○適切な取組の結果、生徒もパソコンの資格等の取得に向けて努力していると感じています。
評価結果の分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ○授業評価アンケートの肯定的評価と定期試験での目標基準点通過者の割合が目標値を上回っていることや、就職試験受験者が全員内定を得ていること、難関の文書デザイン検定への合格、全ての教室での授業のオンライン配信ができるような研修、園芸部の継続的かつ定期的な活動と活動参加率の高さ、地元中学や地域の関係諸機関への訪問回数及び来校回数の増加などの順調な成果や結果だけでなく、資格試験やコンクールの参加者や、部・同好会所属生徒数、学校生活アンケートでの本校進路指導や社会規範に対する肯定的評価の割合などが目標値を下回っていることなどの課題も的確に把握されていることから、中間時点での評価結果の分析としては適切であると判断する。 ○分析は概ね適切だと思うが、書きぶりはゴシック体と明朝体の使い分けなど全日制の方が読みやすかった。揃えた方がよい。 ○進捗状況については具体的な数値をもって確認出来ているが、評価の理由が分かると尚よい。 ○色々な取組の結果を具体的に分析され、今後活かそうとしています。コロナ禍の中で、目標の達成度が十分でなかった側面もありますが、今後の創意工夫に大いに期待できる内容だと思います。

<p>今後の改善方策の適切さ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○短期(本年度)経営目標と行動計画にもとづいて進められてきている取組への中間的な評価結果の分析に即した的確な改善方策が示されていると判断する。特に、2学期後半を目途に進路指導主事との面談やJSTによる進路相談、キャリアカウンセリングの機会を設定することや、清掃ボランティア活動への参加呼びかけなどの地域での活動を充実させていく取組の方向性などの今後の改善方策についても適切に示されていると判断する。 ○最重要視している面接機会の充実について、いつ、どのように行かなど具体的に書いてはどうか。課題に優先順位をつけ、効果的に対応することで、教育活動と働き方改革の推進をバランスよく進めて欲しい。 ○生徒一人一人に寄り添う個別最適な進路指導を行うために、生徒との面談を最重要視されていることは素晴らしいと思います。色々な課題を持っている、持たされた生徒の個性や特性を大事にしてもらい、取組の成果を期待します。 ○進捗に対する対策が、各項目において概ね適切に設定されている。 ○改善方策の中に、休憩時間の延長、生徒交流会の増加があればと思います。
<p>総合評価</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○社会に直結した環境と学びの場である定時制の状況は新型コロナウイルス感染症の影響が全日制よりも大きく作用してしまう側面があることを鑑みると、そのような難しい状況下でも廿日市高校定時制ならではの無理のない可能な中での前向きな取組の姿勢を今年度も引き続き感じとることができる。中期(3年間)経営目標達成に向けて、中間時点までの確実な取組の継続とともに、ここまで明らかとなっている課題への改善にむけた活動によって、今年度も最終的には堅実な成果を導かれることを期待する。 ○社会に貢献できる生徒の育成を続けていただきたい。喫煙行為がなくなったことや、高い学力の生徒の進路実現に向けて取り組まれていることは、教職員の努力の賜物だと思う。 ○先生方の生徒を大切に、自己実現できるよう、様々な取組を通してサポートされている様子がわかります。日々の活動の難しさも多々あるかと思いますが、視点にある寄り添う指導を大切に取組を進めて頂きたいと思います。 ○学校経営計画の現状分析「1 環境分析」がマトリクス表によってまとめられているが、弱点やその対策が分かりやすい。対策部分が目標設定とリンクできれば尚よい。 ○人数が少ないため、先生方の目がとても行き届き、親の悩み相談等も含めて、先生方はとても親身になり対応している。叱る所はしっかり指導し、褒める所はしっかり褒め、メリハリのある指導を今後とも継続してください。